

# テーマ: 自然

目白第一保育園(豊島区)

## テーマを設定する

日頃から、虫や草花に触れることが多く子どもたちの関心が継続している。ダンゴムシをお部屋で観察したり、お部屋の前のテラスで花を育て、園庭に出ると虫探しに夢中になる姿が多い。また、どんぐりなどの自然物を用いて遊んでいる。さらにわくわくするような発見や自然への興味を高め、心豊かな経験ができる機会とする。

## 活動① アーティストワークショップ1

秋の虫をテーマに、身体を動かしたり、音を探求する

## 環境をデザインする

●準備した物 自然素材、空き箱、お皿、新聞紙、ビニール袋他

## 探究活動を実践する

### ●活動内容

- ①アーティスト「すずしくなってきたときに出てくる、いい音を出す虫さんで遊んでみようと思います」
- ②童謡「虫のこえ」の歌で、アーティストがダンス。一緒におどってみる。
- ③録音された虫の声を聴く。「みんなが虫さんだったらどんな音を出したい？」
- ④みんなで保育室のかべや床を手でたたいて、音のちがいに気づく
- ⑤どんぐり、落ち葉、枝、空き箱、ビン、お皿、紙袋、ビニール袋などで自分のお気に入りの音をつくる。 ※同じ内容を2グループで実施。

### ●子どもたちの様子

・録音した虫の音を聴いて「むしさんっておとするの?」「何してるのかな、お家にかえりたいのかな」など想像を膨らませた  
・自然物と様々な容器を自由に触って音を探した。ステンレスの食器に松ぼっくりを入れる。空き缶の中に落ち葉を入れて、そこに木の実を落としてみる。落ち葉と木の実をたっぷり入れて振ってみる、空き箱、ボール、瓶を並べて枝で叩き、音比べ、大きなビニール袋を左右に大きく振ったり細かく振ったり。などさまざまな音の発見が見られた。

## 活動スケジュール(2歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:東山佳永(踊り手・美術家)	R6.11.25 (月)	30分×2 グループ	17人
② アーティストワークショップ2 講師:東山佳永(踊り手・美術家)他1名	R6.11.26 (火)	30分×2 グループ	15人
③ 虫に触れてみよう(ダンゴムシ・バッタかまきり)	R6.10.3 (木)	45分×1	18人
④ 落ち葉ってどんな音?	R6.11. 14 (木)	60分×1	13人
⑤ 自然物で楽器作り	R7.1. 8(水)	45分×1	15人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

・「音をさがす」という初めてのアプローチだったが、それぞれが自分なりの音を探せていておもしろかった。  
・集団での活動が苦手な、活動に参加しづらい子もいたが、さまざまな素材があったことで興味をもって途中から参加することができた。  
・1つの素材に集中していろいろなアプローチを試してみる子や、いろいろな素材を試してみる子など、個々で全く異なる音探しのアプローチが多様に見られた。シンプルな取り組みながら、じっくりと探求ができたと思う。

# テーマ：自然

目白第一保育園(豊島区)

## 活動② アーティストワークショップ2

外部講師としてミュージシャンが加わり、ウクレレやカズーなどの楽器を交えながら、虫をイメージした音と身体の探求を実施した。

### 環境をデザインする

●準備した物 クラフト紙、自然素材、空き箱、お皿、新聞紙、ビニール袋他、ウクレレ、カズー他演奏用楽器、前回録音した音、スピーカー

### 探究活動を実践する

#### ●活動内容

- ①昨日みんなでつくった音で、今日はからだを動かしてみようと思います。
- ②アーティストとアシスタント(ミュージシャン)が、ダンスと音楽のデモンストレーション
- ③ミュージシャンが即興的に出す音を聴いて、みんなで身体を動かしてみる
- ④昨日録音した「みんなが作った音」を聴いてみる
- ⑤大きな緑の葉っぱが登場。みんなで虫さんになって、葉っぱに乗ったり隠れたり、やぶったりして遊ぶ
- ⑥やぶった紙を、思い思いに身体に貼り付けて、はねにする。
- ⑦最後は、生演奏を聴きながら、音探しの続きをしたり、身体を動かしたりして、自由に遊んで終了。 ※同じ内容を2グループで実施。

#### ●子どもたちの様子

・昨日作った音がスピーカーから聞こえてくると興味津々。アーティストが動きをつけると、子どもたちも真似して動きながら「ドチャドチャっておと、したよ」「ガッシャゴッショ、ガッシャゴッショ」と声を出して音を表現していた。

・大きな葉っぱが出てくると、思わず中に潜り込む子どもたち。小さな虫たちのかくれんぼ。大人が葉っぱをうえからそっと叩くと雨のような音が。「虫さんあまやどりだね」

・大きな葉っぱをビリビリやぶいて頭に巻いたり、背中につけたり、それぞれのこだわりで虫になって、虫の気分で飛び回る姿が見られた。



### 振り返りをふまえた気づき

#### ●保育士から

- ・紙を破って身に付けたことがうれしく、活動が終わってからも、「このままつけて寝たい。食べたい。」など虫になりきることを楽しんでいる様子だった。葉っぱの下にもぐった時の表情もキラキラしていて、普段親んでいる虫になりきる楽しさを感じられた。
- ・聞いた音を口に出している様子があった。今日の活動のために家庭でも虫の音を調べて聴いてきた子もいた。耳を澄ませる経験ができた。
- ・音を探る活動では生き生きと活動できており、自由な活動の中で、発想したり探求したりする力が発揮されていた。
- ・感情のままに動くことが苦手な子も、解放されて動いている様子が見られた。